



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月11日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL <https://www.yamabiko-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久保 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	76,398	12.4	6,863	13.6	7,264	21.2	5,393	30.7
2020年12月期第2四半期	67,989	4.4	6,041	16.0	5,992	23.5	4,128	9.4

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 7,319百万円 (113.5%) 2020年12月期第2四半期 3,428百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	129.91	—
2020年12月期第2四半期	99.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	120,334	65,091	54.1	1,566.53
2020年12月期	107,152	59,814	55.8	1,441.32

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 65,091百万円 2020年12月期 59,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	3.1	8,500	△11.9	8,500	△9.6	6,100	△8.1	146.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	44,108,428株	2020年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	2,557,405株	2020年12月期	2,608,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	41,518,835株	2020年12月期 2 Q	41,494,925株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内農業用管理機械事業は、政府の経営継続補助金により主力の防除機などで旺盛な需要が継続しました。国内一般産業用機械事業は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い東京都など複数の都道府県で緊急事態宣言が発出されるなど、引き続き販売活動の制限による影響が大きく厳しい状況が続きました。海外小型屋外作業機械事業は、順調な天候や在宅時間の増加による旺盛な需要が継続しました。

また、為替相場は前年同期と比べて対ドルは円高水準となりましたが、対ユーロは円安基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループは主力の小型屋外作業機械において、海外では引き続きプロ向け「Xシリーズ」製品のプロモーションを積極的に展開するとともに、国内では新製品投入やユーザーの満足度向上などに努めたほか、開発部門を再編しセグメント間の連携強化を図るとともに、将来の柱となる事業に着手しています。また、農業用管理機械および一般産業用機械では省力化を目指すスマート農業に対応した防除機の拡販や発電機へのIoT活用など、「中期経営計画2022」の各施策を着実に推し進めました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	2021年12月期 第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	67,989	76,398	8,408	12.4
国内	25,580	26,260	679	2.7
海外	42,409	50,137	7,728	18.2
米州	37,166	42,230	5,063	13.6
その他海外	5,242	7,907	2,664	50.8
営業利益	6,041	6,863	821	13.6
経常利益	5,992	7,264	1,271	21.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,128	5,393	1,265	30.7

[売上高]

国内：一般産業用機械が低迷したものの、農業用管理機械が大幅に伸長したことに加え、小型屋外作業機械も堅調に推移して増収となりました。

海外：米州や欧州で小型屋外作業機械が大幅に伸長したことに加え、前年低迷していた北米の一般産業用機械が回復し増収となりました。

[損益]

海外で小型屋外作業機械の販売が大きく伸長したことにより営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同四半期と比較して増益となりました。

[セグメント別の概況]

① 小型屋外作業機械

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	2021年12月期 第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 47,261	百万円 54,358	百万円 7,096	% 15.0
国内	8,061	8,180	118	1.5
海外	39,200	46,178	6,977	17.8

国内：前年の定額給付金効果による需要の反動減も、センサーやパワーブロワが好調に推移して増収となりました。

海外：主力の北米や欧州で、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加を背景に刈払機やセンサー、パワーブロワなどの主要製品に加え、アクセサリ販売が伸長し大幅な増収となりました。

② 農業用管理機械

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	2021年12月期 第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 11,949	百万円 13,488	百万円 1,538	% 12.9
国内	9,494	10,884	1,390	14.6
海外	2,455	2,603	148	6.0

国内：年初からの政府の経営継続補助金により牽引式スプレーヤが好調に推移したほか、省力化・効率化に資する畦草刈機やモア、高所作業機も増加して増収となりました。

海外：北米は大豆収穫機が好調に推移して増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	2021年12月期 第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 7,827	百万円 7,406	百万円 △421	% △5.4
国内	7,074	6,051	△1,022	△14.5
海外	753	1,354	601	79.9

国内：新型コロナウイルスの感染拡大に伴い引き続き展示会が中止になるなど、販売活動の停滞や建設工事等の遅れに加え、前年伸長したガソリンスタンド向け非常用発電機需要の反動減を受け減収となりました。

海外：昨年大きく落ち込んだ北米の発電機の需要が回復し増収となりました。

④ その他

	2020年12月期 第2四半期連結累計期間	2021年12月期 第2四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 950	百万円 1,145	百万円 194	% 20.5

主要3事業以外の売上高は、除雪機販売や保守サービス収入が増加して増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて131億81百万円増加し1,203億34百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加123億6百万円、原材料及び貯蔵品の増加36億50百万円、現金及び預金の減少25億90百万円、商品及び製品の減少12億55百万円等によるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて79億4百万円増加し552億43百万円となりました。

その主な要因は、電子記録債務の増加29億54百万円、支払手形及び買掛金の増加27億7百万円、賞与引当金の増加21億円、未払法人税等の増加12億87百万円等によるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて52億77百万円増加し650億91百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加37億25百万円、為替換算調整勘定の増加18億8百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント減少し、54.1%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが16億86百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが13億58百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが31億39百万円の支出となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は105億98百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益72億54百万円、減価償却費15億58百万円、賞与引当金の増加額21億円、売上債権の増加額111億98百万円、仕入債務の増加額40億55百万円、法人税等の支払額12億82百万円などにより、16億86百万円の収入（前年同四半期は36億11百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出15億64百万円などにより、13億58百万円の支出（前年同四半期は13億34百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少額7億64百万円、配当金の支払額16億62百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出4億57百万円などにより31億39百万円の支出（前年同四半期は5億71百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績予想の見直しを行った結果、2021年5月12日に公表いたしました2021年12月期通期の連結業績予想および期末配当予想を修正しております。

詳細については、本日（2021年8月11日）公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,243	10,653
受取手形及び売掛金	27,294	39,600
商品及び製品	21,824	20,569
仕掛品	2,011	1,996
原材料及び貯蔵品	11,306	14,956
その他	2,332	2,031
貸倒引当金	△216	△247
流動資産合計	77,796	89,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,190	8,200
土地	7,555	7,322
その他(純額)	6,889	7,457
有形固定資産合計	22,635	22,980
無形固定資産	428	558
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,245	1,258
その他	5,440	6,364
貸倒引当金	△394	△389
投資その他の資産合計	6,291	7,233
固定資産合計	29,355	30,772
資産合計	107,152	120,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,763	12,471
電子記録債務	12,086	15,040
短期借入金	2,794	2,044
1年内返済予定の長期借入金	536	800
未払法人税等	861	2,149
賞与引当金	—	2,100
製品保証引当金	543	561
厚生年金基金解散損失引当金	475	475
その他	6,056	5,801
流動負債合計	33,117	41,445
固定負債		
長期借入金	11,374	11,115
退職給付に係る負債	47	49
製品保証引当金	786	887
厚生年金基金解散損失引当金	1,015	655
役員株式給付引当金	196	166
その他	800	923
固定負債合計	14,221	13,798
負債合計	47,338	55,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,743	9,286
利益剰余金	45,133	48,859
自己株式	△925	△842
株主資本合計	59,951	63,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	950	1,055
為替換算調整勘定	△762	1,046
退職給付に係る調整累計額	△326	△313
その他の包括利益累計額合計	△137	1,788
純資産合計	59,814	65,091
負債純資産合計	107,152	120,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	67,989	76,398
売上原価	48,618	55,127
売上総利益	19,371	21,270
販売費及び一般管理費	13,329	14,407
営業利益	6,041	6,863
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	35	38
受取ロイヤリティー	16	0
持分法による投資利益	24	9
為替差益	—	305
その他	102	128
営業外収益合計	181	483
営業外費用		
支払利息	80	48
為替差損	92	—
支払手数料	1	9
その他	56	24
営業外費用合計	230	82
経常利益	5,992	7,264
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除売却損	25	17
特別損失合計	25	17
税金等調整前四半期純利益	5,966	7,254
法人税、住民税及び事業税	1,969	2,565
法人税等調整額	△131	△705
法人税等合計	1,838	1,860
四半期純利益	4,128	5,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,128	5,393

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	4,128	5,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	104
為替換算調整勘定	△439	1,794
退職給付に係る調整額	1	12
持分法適用会社に対する持分相当額	—	14
その他の包括利益合計	△699	1,925
四半期包括利益	3,428	7,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,428	7,319

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,966	7,254
減価償却費	1,795	1,558
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	11	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	10
受取利息及び受取配当金	△37	△39
支払利息	80	48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,477	2,100
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,720	△11,198
たな卸資産の増減額 (△は増加)	861	△780
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,405	4,055
未収消費税等の増減額 (△は増加)	768	506
持分法による投資損益 (△は益)	△24	△9
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△360	△360
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	14	△29
その他	△782	△143
小計	4,474	2,980
利息及び配当金の受取額	36	38
利息の支払額	△92	△50
法人税等の支払額	△807	△1,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,611	1,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,429	△1,564
有形及び無形固定資産の売却による収入	101	264
定期預金の預入による支出	—	△139
定期預金の払戻による収入	—	86
その他	△6	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,334	△1,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,084	△764
長期借入れによる収入	2,164	—
長期借入金の返済による支出	△2,296	△140
配当金の支払額	△1,454	△1,662
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10	△457
その他	△58	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571	△3,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,683	△2,645
現金及び現金同等物の期首残高	6,262	13,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,946	10,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月27日付けで連結子会社であるやまびこヨーロッパ・エス・エイの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が457百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が9,286百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	47,261	11,949	7,827	67,039	950	—	67,989
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28,291	7,966	7,655	43,913	602	△44,516	—
計	75,553	19,916	15,483	110,953	1,552	△44,516	67,989
セグメント利益	8,165	184	544	8,894	171	△3,023	6,041

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△3,023百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	54,358	13,488	7,406	75,253	1,145	—	76,398
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34,818	8,765	5,557	49,141	666	△49,808	—
計	89,176	22,254	12,963	124,395	1,811	△49,808	76,398
セグメント利益	9,224	254	339	9,818	211	△3,166	6,863

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△3,166百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)
 (共通支配下の取引等)
 子会社株式の追加取得

当社は、2021年4月12日開催の取締役会において、連結子会社であるやまびこヨーロッパ・エス・エイの株式を追加取得し、完全子会社化することを決議し、2021年4月27日付けで株式を追加取得いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称 やまびこヨーロッパ・エス・エイ
 事業の内容 自動芝刈機の製造・販売、小型屋外作業機械の販売

(2) 企業結合日

2021年4月27日

(3) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は39.0%であり、当該取引により当社が保有するやまびこヨーロッパ・エス・エイに対する議決権比率は100%となりました。当該追加取得は、当社グループ内における一層の連携強化により、意思決定の迅速化及び自動芝刈機、小型屋外作業機械のさらなる販売拡大を通じて、企業価値の向上を図ることを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式を追加取得した場合に掲げる事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	457百万円
取得原価		457百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

457百万円